



## グローバルカンパニーとして 社会とともに成長するために、 世界中のステークホルダーに対する責任を 果たしていきます。

古河スカイ株式会社  
代表取締役社長

岡田 満

### 中期経営計画のもと、 アジアNo.1の魅力あるカンパニーに向けて、 基本方針を着実に実施しました。

CSRレポートの発行にあたり、ご挨拶申し上げます。2012年6月の取締役会をもって、新たに代表取締役社長に就任しました岡田です。

当社グループは現在、2010年度からスタートした「2012中期経営計画」を推進しています。この計画では、中長期のビジョンとして「アジアNo.1の魅力あるカンパニー」を掲げ、その実現に向けて「国内事業において既存事業の構造改革を推進し、事業基盤の強化を図ること」「海外事業において、成長する市場に的確に対応すること」「新製品開発として、成長製品や次世代製品への事業対応を進めること」という3つの基本方針を掲げています。

また、2012年度までの3か年を、新たな飛躍への第一歩を踏み出す期間として位置付けており、その中間年度にあたる2011年度は、上記の基本方針に沿った施策を着実に推進しました。

なかでも注力したのがグローバル供給体制の強化であり、その一環として、タイにアルミニウム板圧延品の一貫生産を行う新工場の建設に着手しました。この新工場は、国内構造改革に伴う日光工場の休止設備を移設してスタートする計画であり、拡大するアジア需要に応える一大生産拠点としての役割を期待しています。

### 東日本大震災の教訓を踏まえ、 有事に際しても製品を安定供給できる 体制を強化しました。

2011年度は、お客様との信頼関係の基盤となる製品の安定供給をはじめ、事業継続性に関する体制強化に努めた1年でもありました。

当社グループでは、かねてから大規模地震の発生を事業継続上の重要なリスクと位置付け、BCP (Business Continuity Plan: 事業継続計画) を策定しています。2011年度は、工場建屋・設備の耐震診断・耐震補強工事の見直しや東日本大震災を通して見えてきた課題に取り組み、BCPを見直しました。さらに工場ごとに実施している防災訓練等を通してBCPの有効性の検証をしました。

今後も事業継続に向けたリスクマネジメントに取り組み、有事の際には迅速な対応力を発揮することで、お客様に、そして社会に対して、メーカーとしての供給責任を果たしていきます。

### 真のグローバルカンパニーをめざして 世界中のステークホルダーの皆様の 信頼にお応えしていきます。

2012年度は、中期経営計画の仕上げとなる1年であり、引き続きグローバルな視点から経営基盤と事業規模の強化・拡大を図ること、中長期ビジョンの実現に努めます。

当社グループが「真のグローバルカンパニー」として持続的な成長を実現するためには、グローバル社会から信頼され、愛される企業グループであり続けることが重要になります。そのため、国内法はもちろん、事業を展開する各国・各地域の法令を遵守し、コンプライアンスの徹底を図っています。

加えて、地球環境への配慮や、地域社会との共生など、さまざまな視点から、世界中のステークホルダーの皆様に対する責任を果たしていきます。

このCSRレポートでは、さまざまな取り組みを、できる限り具体的に報告しています。ぜひご一読いただき、忌憚のないご意見やご指導をいただければ幸いです。